

原爆犠牲者慰霊碑「友愛の碑」に銘板を設置

～中国支部・毛利委員長と原爆犠牲者遺族・高田勇様が銘板設置に立ち会う～

日本損害保険協会中国支部(委員長：毛利 吉成・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 執行役員中国本部長)では、8月24日(木)、毛利委員長、原爆犠牲者遺族でご自身も被爆者である 高田 勇 様などが立ち会ったうえ、原爆犠牲者慰霊碑「友愛の碑」に、設置目的や犠牲者数などを記した銘板を設置しました。

2022年7月、高田勇様が当支部を訪れて、原爆で亡くなったお父様たちの犠牲者の氏名などを記した銘板の作成を提案されたことから、当支部は、高田様のご意思に寄り添って、広島市との調整を重ねることで、銘板の設置に至ったものです。個人名の記載は広島市との調整でかないませんでした。が、「友愛の碑」の設置目的、犠牲者数や原爆と戦争保険の説明として、原爆投下4日後の8月10日から保険金支払いが始まったことなどが記されています。

毛利委員長から、「未曾有の事態でも、先輩たちは、すぐに仕事を再開しました。困った人の力になるの思いは、いつの時代も忘れてはなりません」との感想がありました。

また、高田様から、「慰霊碑の由来がないことを寂しく思っていました。これで、亡くなった父を偲ぶことができます。近いうちに、娘たちを連れてきたいです」との感想がありました。



高田勇様（左）の被爆体験を聴き入る毛利委員長（右）



銘板設置作業の様子



設置された銘板

■友愛の碑

原爆投下から20年が経過した1965(昭和40)年、広島市の平和記念公園前の平和大通りに、原爆の犠牲となった損害保険会社職員89名の慰霊と平和へのいしずえを祈念して、当時の広島地方委員会(当支部の前身)が中心となって建立した記念碑。産業別の記念碑の設立はめずらしい。彫刻家の故・辻 晋堂 作。

4個の十字形は人間の形を表したもので、4は東西南北を示し、全世界を意味している。彫刻の上のもう1つの十字形は死者、原爆犠牲者を表しており、4個の人の形によって、平和を希求する全世界の人々の、愛と良心が原爆犠牲者の冥福を祈っていることを表現したいという願いが込められている。

■銘板のデザイン

友愛の碑

昭和四十年八月三日 日本損害保険協会広島地方委員会 建立

【建立の目的】

日本損害保険協会加盟会社の原爆犠牲者八十九人の慰霊と平和への礎を祈念する

【形 状】

ブロンズ製の彫刻と万成石の台石からなり 彫刻の十字形は東西南北の人間が手をつないでいる姿を表し 平和を希求する全世界の人びとの愛と良心のつながりを表現しています 全世界の人びとから冥福の祈りを受けている形となっています

【原爆による犠牲者】

昭和二十年八月六日当時 多くの損害保険会社は今の平和記念公園近辺にあり 約二百人の職員が勤務していました 午前八時三十分が始業だったことから 原爆投下の午前八時十五分に事務所や通勤路上で被爆し行方不明になった職員も多かったです

【原爆と戦争保険】

政府は太平洋戦争開戦直後 戦争保険臨時措置法を公布し 戦闘行為に基づく火災 損壊による損害を補償する戦争保険を設けました 当初は 市民も空襲の実感が無く 保険金の支払も原則即時払いではなかったため 申込みは少なかったのですが 昭和十九年四月 戦時特殊損害保険法が施行され 火災保険契約に強制付帯するようになったことと 大都市への空襲が始まり 広島市民も一斉に申込みを始めたため 損害保険会社は連日繁忙をきわめました 原爆投下後 人びとの不安を収めるため 八月十日頃から焼け残った日銀店内に各社の合同支払事務所を設け 保険金の即時支払事務が行われました

銘板設置 令和五年八月六日 日本損害保険協会中国支部委員会 遺族有志 広島市
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 A I G 損害保険株式会社 共栄火災海上保険株式会社 セコム損害保険株式会社 ソニー損害保険株式会社
損害保険ジャパン株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 日新火災海上保険株式会社 三井住友海上火災保険株式会社 損害保険料率算出機構 一般社団法人日本損害保険協会